

合格体験記

氏名：U.Y.

[合格した自治体(校種・教科)]

大阪府（中学校・国語） ・ 愛知県（中学校・国語）

Q 採用試験に向けて・・・

①いつから勉強しましたか

12月の終わりに行われる教職ナビ冬期合宿をきっかけに筆記試験対策を始めました。そして、2月ぐらいから本格的に筆記、面接試験ともに対策をしました。

②どのような教材を使っていましたか

- ・ 2011年度版 徹底解説 一般教養の過去問 時事通信社
- ・ 2011年度版 徹底解説 教職教養の過去問 時事通信社
- ・ オープンセサミシリーズ 2011年度教員採用試験 参考書 教職教養 東京アカデミー

③勉強方法

筆記はとにかく問題をたくさん解くことを心がけました。問題を解いて間違えた所をノートにまとめて同じ間違いを繰り返さないようにしました。これは、あくまで問題に慣れることを重要視しているの、全ての出題範囲を網羅できる方法ではないので、時間がない方にはお勧めしますが、時間があるのであれば、まずは参考書をまとめる方法をお勧めします。

面接は、面接練習を受けたり、見に行ったりしたものを面接ノートにまとめました。質問項目について自分で考えたり、ナビの仲間と話しをする中で考えを深めたりしました。

④一日何時間勉強しましたか

平日は授業が少し残っていたりしてなかなかまとまった時間がとれなかったので一日2～3時間くらいでしたが休日は、5～6時間くらいしていました。私はもともと集中力が続く方ではないので、短時間に集中してやりました。

⑤どこの自治体を受けてどのような対策をしましたか

静岡県、愛知県、大阪府を受験しました。筆記試験の傾向はそんなに変わりはないので特に意識して対策はしていません。静岡県は、一次試験に個人面接がありましたが、特に対策はしませんでした。

⑥二次対策はどうしていましたか(実技・専門・模擬授業)

筆記の2次試験は、漢字、熟語、文学史などを勉強し、苦手な古典は単語の確認を重点的に行い、漢文は手をつけていません。

個人面接は普段の面接練習と同じ対策をしました。

模擬授業は、国語科ナビで大阪府の形式で対策を行いそれに参加しました。

集団討論は、教職ナビ主宰のものに参加しました。

⑦あなたにとって教職ナビとはどのようなものですか

自分を変える機会を与えてくれる場だと思います。教職ナビは自分を変えるチャンスをいくらでも与えてくれます。しかし、そこにいるだけで自分が変わりません。そこで、自分が一步を踏み出すことができるかできないかで、変わるか変われないかが決まります。勇気をもって一步踏み出せば、人間性を磨くことができます。勇気がでない時は仲間に頼ってください。

⑧ゼミ(授業)と教員採用試験との兼ね合いはどうしていましたか

私は、1～2回生の間に極力授業の単位を取得しておき、3回生では、必修以外ほぼすべての単位を取得し終えていました。ゼミも4回生では、発表などが無かったので、教員採用試験に差し支えありませんでした。

⑨バイトやボランティアはどうしていましたか

1～2回生でたくさんの単位を取得していたので、3回生からは、バイトは週に4日、ボランティアは週1日行っていました。バイトは教採の間は休んでいて、ボランティアは4回生になってやめました。

⑩挫けそうになったときどうしていましたか

正直言って何度も挫けそうになりました。そんな時は、ナビの仲間と話したり、教職に関係のない仲間と話したり、教育実習で出会った生徒たちの笑顔を思いだしたりして、乗り越えました。また、よく自問自答しました。理想の教師像や、なぜ教員を志望したのかなど、を考えることでモチベーションを高めました。

⑪大学生生活中にやっておいたらいいこと

とにかく何事も経験することです。それが、教職に関係あってもなくてもとにかくいろいろなことに挑戦して経験するといいと思います。面接などで話すことも増えますし、様々な経験からものごとを多角的に見ることができ、より考え方が深まると思います。

Q これからどのような先生になりたいですか

来年度から新任として働くにあたり、チャレンジすることを目標にしたいと思います。右も左も分かりませんが、生徒と一緒に成長していけるような先生になりたいです。子ども達には、「自分がされて嫌なことは人にしない」という信念をもって接し、自分も他人も尊重できるような人間を育てるという意識をもって日々精進したいと思います。

Q これから教員採用試験を受ける方へのメッセージ

聞いたことがある方もいらっしゃると思いますが、私は、教員採用試験というものが車の免許と同じようなものだと思っています。決して楽観視しているわけではなく、例えば大阪府の中学校でしたら全体で500人などと教職ナビで採用試験を受ける人よりも遥かに多い人数の採用です。ですので、皆が一定以上の知識を持って筆記試験をクリアし、磨き合って面接対策をすれば、全員合格も夢という遠いものではなく、目標という手の届くものになるはずですよ。ですから、仲間と助け合って、自分一人が合格でえきればいいのではなく全員で合格するのだという気持ちを持って教員採用試験に臨んで欲しいと思います。いつの日か教員採用試験に全員合格できることを心からお祈り申し上げます。